

避難所のルール・防火・防犯① 「ルールの掲示等」

- ★ 避難所での共同生活は、ルールを明確にし、一定の規律のもとで行います。
- ★ 災害後の混乱の中では、防火・防犯にも注意が必要です。避難所内部に限らず、外部からの危険を排除する意味でも、避難所における防火・防犯対策は不可欠です。
- ★ I-①②を活用し、避難所の安全・安心を確保しましょう。

1 避難所のルール

チェック

☐

避難所の共通ルールを掲示し、避難者に周知します。

- * 事前に作成している避難所では、目立つ場所に速やかに掲示します。
- * 作成していない避難所では、活動編P35を参考に作成して掲示します。
- * 掲示とあわせて、地域ごとに代表者から周知するなど、避難者に周知徹底します。

※活動編P35 「避難所全体のルール（例）」参照

チェック

☐

トイレなどの共有スペースは、それぞれにルールを決めて周知します。

- * 共通ルールとは別に、共有スペースごとにルールを張り出すなどし、周知徹底します。

※活動編P37 「トイレ使用ルール（例）」参照

2 避難所の防火・防犯

チェック

☐

火気の手扱い場所を制限し、手扱いのルール・注意を周知します。

- * 避難所室内は禁煙とし、定められた喫煙場所でのみ許可します。
- * ストープなど室内で使用する火気は、使用する部屋ごとに責任者を決めて管理します。
- * 個人所有のカセットコンロなども、使用場所を決めるなど、注意を促します。
- * 火気手扱い場所には、必ず消火器及び水バケツなどを配置します。

※活動編P38 「火気使用ルール（例）」参照

チェック

☐

夜間の避難所対応を継続するために、交代制の当直者を決めます。

- * 地域団体・避難所担当職員などから、交代制の当直者（複数名ずつ）を決めます。
 当直の仕事 ⇒ 夜間の避難者の出入りの確認や避難者への対応
 ⇒ 防火・防犯のための、避難所内の巡回
- * 複数名ずつ時間を分けて交代して実施するようにしましょう。

※ ルールの周知や当直の決定を行ったら「I-②」のポイントに留意して、
 避難所の安全・安心を守りましょう。……………「I-②」へ

避難所のルール・防火・防犯② 「ルール・防火・防犯」

～ ルールの周知後、当直の決定後は、以下に留意して安全・安心を守りましょう ～

1 避難所のルール

チェック → 継続

☐

避難所のルールについては、以後、以下のとおり取扱います。

◇ 避難所のルールは、避難所の状況の変化に合わせて変更します。

- * ライフラインが回復するなど、避難所の生活に変化があるときは、避難所運営委員会の中で、変化に合わせてルールを決定・変更しましょう。

◇ 変更されたルールは、その都度避難者に周知徹底します。

2 避難所の防火

チェック → 継続

☐

避難所の防火については、以後、以下のとおり実施します。

◇ 定期的に避難所内を見回り、火気の取扱いが適切に行われているか確認します。

- * 指定された場所以外での火気の取扱いや喫煙がないか
- * 水バケツなどを配置して適性に取り扱っているかなどを確認します。

3 避難所の防犯

チェック → 継続

☐

避難所の防犯については、以後、以下のとおり実施します。

◇ 夜間は、建物の出入り口の施錠を徹底し、当直者のいる出入り口のみ開錠します。

- * 夜間の出入り口を決めたら、避難者への周知を忘れずに行ってください。
- * 非常時には、すぐに施錠してある部分の開錠ができるようにしてください。

◇ 当直者は出入り口付近で人の出入りを確認し、不審者の侵入を防ぎます。

- * 出入り口付近には必ず人を配置して、出入りが確認できるようにしましょう。

◇ 当直者は夜間の避難所内のパトロールを行い、防火防犯に努めます。

- * パトロール中も、出入り口付近に人が配置できるよう、当直は複数名ずつ行います。

◇ 避難者の居室部分以外は夜間も消灯しないように心がけます。

◇ トイレが外部にある場合は、通路やトイレ内の照明を確保します。

シートIはここで終了です。上記に留意して、避難所閉鎖まで継続してください。

